



## Maker Faire Tokyo 2013

2013/11/3-4 於: 日本科学未来館・タイム24ビル

### スポンサー募集要項

株式会社オライリー・ジャパン

# はじめに



全世界でMakerムーブメントが盛り上がりを見せています。  
昨年日本国内で初の開催となった「Maker Faire Tokyo 2012」は、  
有料開催にも関わらず240組の出展者様ならびに9,100名の来場者様を  
お迎えし、大盛況のうちに幕を閉じることができました。  
また、本年6月には、第2回目となる「Maker Conference Tokyo 2013」を開催。  
こちら、300名の来場者を迎え、盛況裏に終了致しました。  
これも皆様方からの支援のお蔭と、厚く御礼申し上げます。  
小さなガレージから生まれるイノベーションに、世界中の人々が注目しはじめ、  
大きなうねりが生まれようとしているのを、Makerムーブメントに関わる皆様は  
肌でお感じになられていることと存じます。  
この度、私どもオライリー・ジャパンでは、皆様方からのご期待に応えるため、  
会場を拡張し、Maker Faire Tokyo 2013を開催することと致しました。  
皆様方におかれましても、是非本イベントへのご協賛を通じ、  
Makerムーブメントや、Makerの皆様に対して  
ご支援を賜れば幸甚にございます。

2013年8月吉日 株式会社オライリー・ジャパン  
代表取締役 John Moore

# Makerムーブメントとは

# Make:

- 「Make」は、アメリカ発のテクノロジー系DIY工作専門雑誌として2005年に誕生しました。
- 自宅の庭や地下室やガレージで、びっくりするようなものを作っている才能あふれる人たちのコミュニティが、現在どんどん大きくなっています。
- 「Make」は、そうしたコミュニティ同士を結びつけ、刺激と情報と娯楽を与えることを目的としています。
- 「Make」は、すべての人が思いのままに、あらゆるテクノロジーを遊び、いじくり、改造する権利を称賛します。
- 「Make」の読者は、自分自身、環境、教育—私たちの世界全体をよりよいものにするための文化、コミュニティとして成長を続けています。
- それは、雑誌の読者という枠を超え、全世界的なムーブメントになりました。私たちはそれを「Makerムーブメント」と呼んでいます。



# イベント概要

**Make:**

- 名称 : Maker Faire Tokyo 2013 (略称:MFT2013)
- 日時 : 2013年11月3日(日)、4日(月・祝)  
11月3日(日) 12:00-17:00 / 11月4日(月) 10:00-17:00 (予定)  
搬入日・・・11月2日(土) (時間未定)  
出展者懇親会・・・11月3日(日)夜
- 会場 : 日本科学未来館 / タイム24ビル
- 入場料(予定) : 前売: 大人1,000 円 / 18歳以下500円  
当日: 大人1,500 円 / 18歳以下700円  
(小学校未就学者は無料、期間中1日限り有効)
- 出展者数 : 300組
- 想定動員数 : 1万人/2日間
- 主催 : 株式会社オライリー・ジャパン
- 共催 : 日本科学未来館、他
- 協賛 : Makeの精神を理解し、支援したいと考える  
Maker ムーブメントと親和性のある企業

# Maker Faireとは



- 「電子工作」「電子楽器」「ロボット」「手芸」「乗り物」「園芸」...等々、物づくりを愛する人々が集い、それぞれの制作物を展示・発表し、作り手と使い手が交流する場です。
- 内容は、Makerたちによる「展示」「ワークショップ」「プレゼンテーション」を中心に、様々なコンテンツで構成されています。
- Maker Faireは、2006年、アメリカで第1回目が開催されたのを皮切りに、現在世界各地の約60か所で開催されています。
- 2012年6月にサンフランシスコで開催されたMaker Faire Bay Area 2013には2日間で12万人が参加しました。
- 日本では2008年より、前身となるイベント Make Tokyo Meeting (MTM) が、年1~2回のペースで開催されています。
- 2012年12月から「Maker Faire Tokyo」と名称を変更。240組のMakerが参加し、来場者は9,100名に上りました。





# Maker Faire Tokyo ご協賛のメリット

# Make:

- 物作りに興味、関心があり、エンジニアマインドを持つアーリーアダプターである「Maker」が出展者ならびに来場者の中心のイベントです。
- 出展者、来場者の多くを占める「物作り志向が強いエンジニア」に貴社及び貴社商品を認知させることが可能です。
- 個人の物づくりに関する幅広いジャンルのユニークな展示が多く、各種メディアから高い注目を集めています。
  - 掲載誌・番組: The Japan Times／NHK「ただいま！」／週刊アスキー／ダイヤモンドオンライン  
日経MJ(流通新聞)／@IT／インプレス「PC Watch」／アイティメディア「ねとらぼ」  
CBC NET／R25／Switch ...他多数
- 御社の「モノづくりをする人々を支援する」という姿勢を広く露出させ、ブランドイメージの向上につながります。



# 会場マップ

# Make:

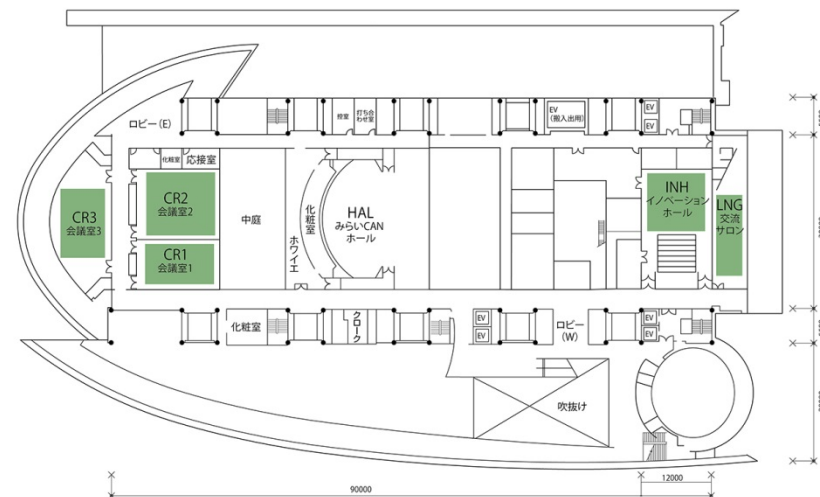
第1会場  
日本科学未来館  
1階・3階・7階

屋外展示  
ケータリングゾーン

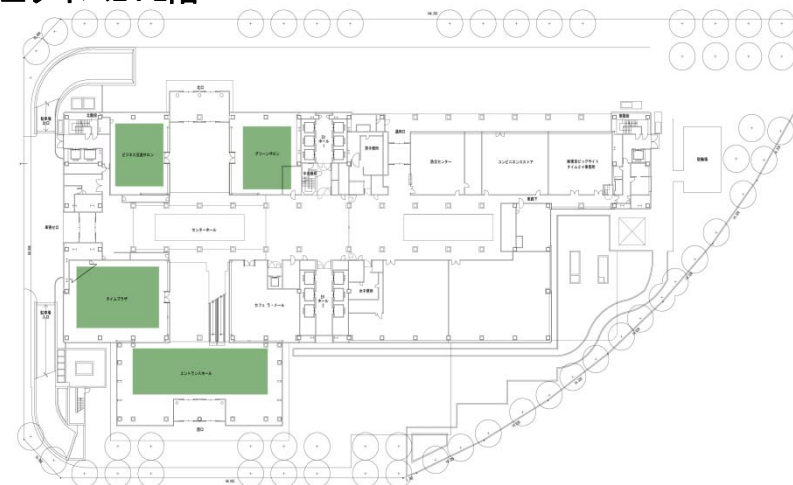
第2会場  
タイム24ビル  
1階(予定)

# Make:

■日本科学未来館 7階



## ■タイム24 1階





# MFT2013 出展プラン一覧

**Make:**

分類	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	(ご参考) 企業出展
出展料金(税別)	お問い合わせください			
ロゴ掲示 (WEB、プログラム、会場パネル)	大	中	小	無し
スポンサータグの提供(※1)	8枚	4枚	4枚	4枚 (出展者タグとなります)
招待券の提供(※2)	10枚	8枚	4枚	無し
出展者懇親会招待券の提供(※3)	4枚	2枚	2枚	無し
プレゼンテーション(20分間)実施	有り	無し(※4)	無し(※4)	無し
出展ブース(180cm×60cm)(※5)	机4本	机2本	机1本	1本
ブースでの物品の販売	可能			

協賛可否に関しましては、事前に弊社規定に基づき確認させていただきます。出展ブースの数には限りがあり、各プランごとに先着順による受付となります。

なお、出展内容等が未定の場合、イベント趣旨に対して不適当と思われる場合は、ご協賛を辞退する場合がございますのであらかじめご了承ください。

※1: 入場・搬入・搬出ならびにスポンサーブース内での説明にはスポンサータグが必要となります。

追加のスポンサータグが必要な場合は、別途販売の予定です。(前売り・当日販売価格 1枚3,000円/税込(予定))

※2: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき2名様にご入場いただけます。

※3: 11/3(日)の夜に開催される出展者懇親会の無料入場券となります。追加参加の場合は、別途有料にてお申し込みを受け付けます。

※4: 昨年までご協賛特典とさせていただいていたプレゼンテーション枠はPLATINUMSMITH SPONSOR以外のプランではオプションとなりました。詳細は11ページをご覧ください。

※5: 出展ブースへの机追加は1本あたり3万円(税別)で承ります。合計最大4本まで利用可能です。

(主催者関係企画についてはこの限りではありません。また、会場等の都合によりご要望の机本数をご用意しかねる場合もございますのでご了承ください)

特殊なスペースを希望される企業様は、お申し込み時にお問い合わせください。別途御見積致します。

※昨年までご協賛特典とさせていただいていた、来場者全員配布資料は、オプションとなりました。詳細は11頁をご覧ください。

# MFT2013 協賛特典

# Make:

## ブース展示



会期中は、協賛プランに応じた台数の長机を使って展示をすることができます。  
自社サービス・商品のご紹介、お客様とのコミュニケーションなどにご活用ください。  
物販も可能です。  
(ブースの配置場所につきましては  
オライリー・ジャパンにて決定させていただきます)

## ロゴ掲示(全員配布プログラム)



入場時全員に配布されるプログラムに貴社ロゴを掲示いたします。  
(掲示サイズは協賛プランに応じます)

ロゴ掲示場所、サイズはプログラム／ウェブサイトのデザインに応じて変更される場合がございます。ご了承ください。

## ロゴ掲示(ウェブサイト)



makezine.jpのイベント特設ページに貴社ロゴを掲示いたします。(掲示サイズは協賛プランに応じます)

※昨年の掲示状況は  
<http://makezine.jp/event/mft2012/sponsors/>  
をご参照ください。

# オプションプラン

# Make:

## 全員配布チラシ同梱



A4サイズのフライヤー、  
カタログを来場者プログラム  
と同時に配布します。

- 配布フライヤー・カタログの内容につきましては、事前審査があります。
- お申込み時に概要と判型・仕様について確認を致します。
- フライヤー2万部を10月10日(木)までに指定の送付先へ送付ください。
- 残部は当方にて廃棄致します。

## プレゼンテーション



会期中1回、会場内の  
プレゼンテーションスペースで  
20分間の発表を行うことが  
できます。

- プレゼンテーションの実施日時につきましては、オライリー・ジャパンにて決定させていただきます。
- 会場定員:100名程度(予定)

## 懇親会スポンサー



11月3日(日)の夜に  
開催予定の出展者懇親会  
(定員250名)会場に、  
貴社ロゴを掲示致します。

## makezine.jp 記事掲載



貴社展示内容・プレゼン内容  
のレポートをmakezine.jp上に  
掲載します。

※すべてオプション料金をご請求させていただきます。お問い合わせください。

このほか、ワークショップ、タイアップ企画等、御見積致します。  
お気軽にお問い合わせください。

- Personal Fabrication/3D Printer VILLAGE(仮)
  - 現在注目が集まりつつある3Dプリンター等パーソナルファブリケーション機器の活用事例を、様々なコミュニティや団体、アーティストの展示によってご紹介する企画コーナーです



(※写真はイメージです)

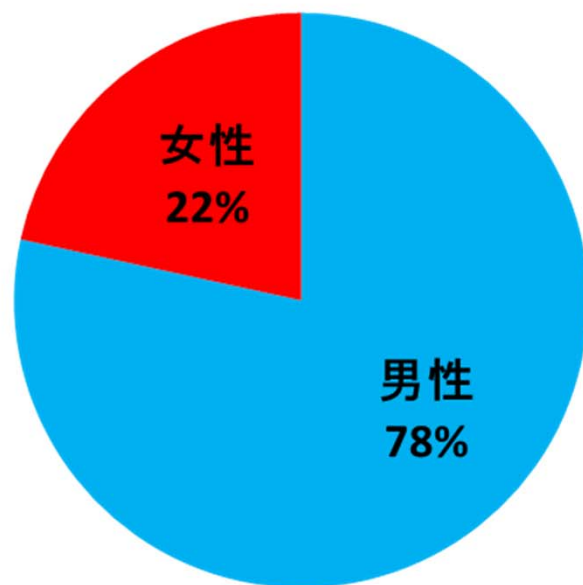
本ゾーンでの展示・発表につきましては別途御見積致します。



# Maker Faire Tokyo 来場者層

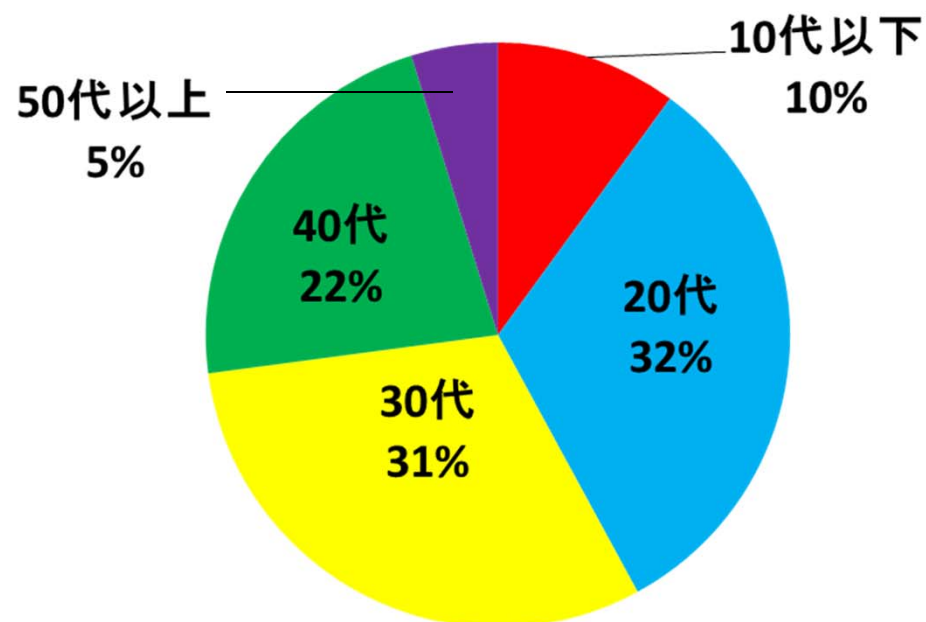
**Make:**

■ 男女比率



技術系イベントとしては  
女性比率が約1/5 と高い構成。

■ 年齢層



20代、30代、40代が中心で  
10代以下、50代以上も来場。  
(会場では家族連れも目立ちます)

※Maker Faire Tokyo 2012 (2012年12月実施) 来場者アンケートより サンプル数 668

# Maker Faire Tokyo 来場者層

# Make:

■ 今後作ってみたいと思ってるもの (n=650, 複数回答可)

項目	%
Arduino を使った作品	53%
スマートフォンとつながる電子工作	32%
ロボット	29%
3D プリント	25%
レーザーカッターを使った加工	23%
Kinect を使った作品	20%
電子楽器	18%
CNC など工作機械を使った加工	16%
電子手芸	13%
キット製作	12%
ペーパークラフト	12%
模型飛行機/UAV	10%
手芸(電子部品を使わない)	10%
乗り物製作	7%
料理	6%

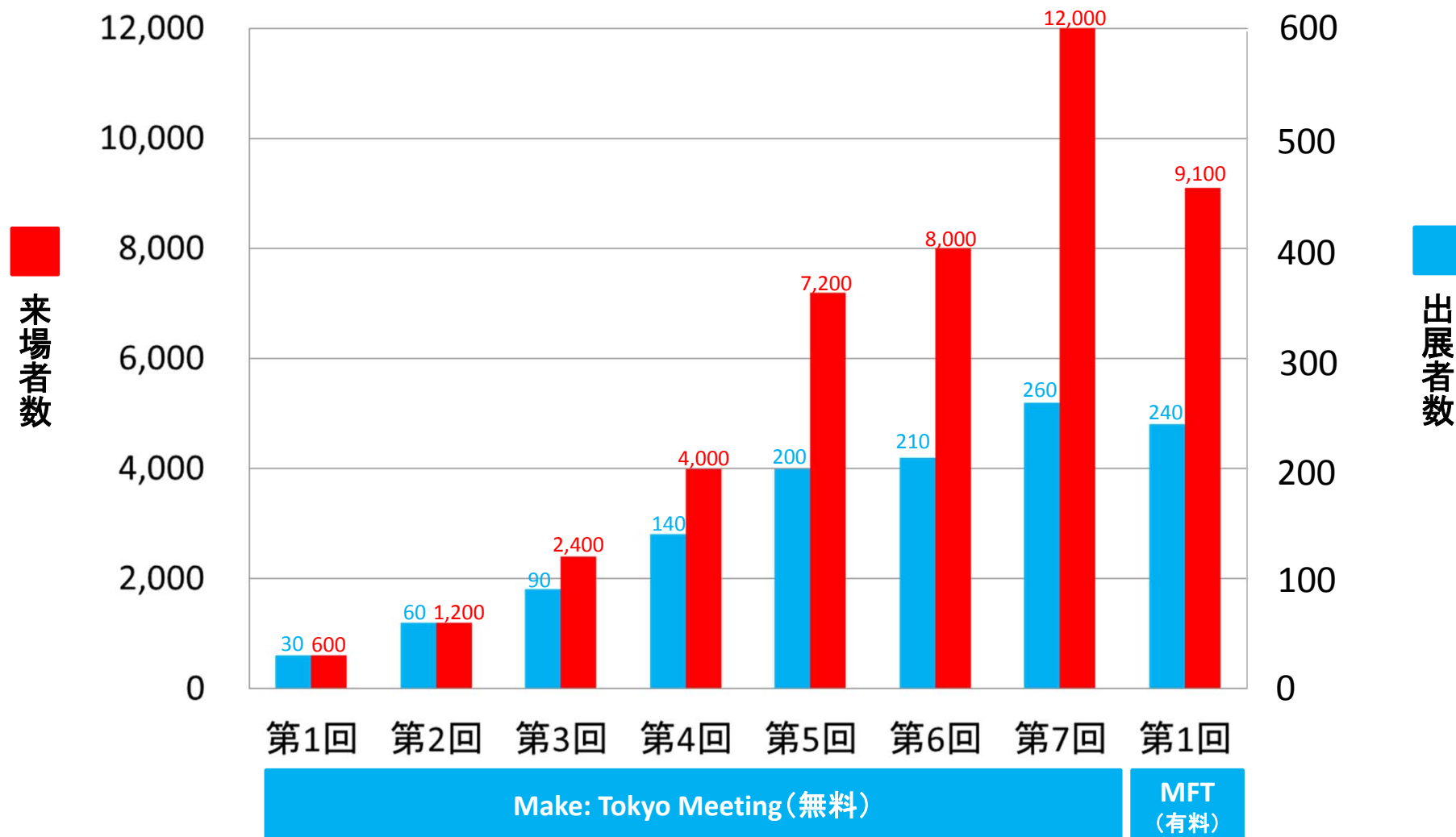
■ 仕事や学業で関わっていること (n=650, 複数回答可)

項目	%
プログラミング	23%
システム開発	15%
ハードウェア製作(機械系)	13%
ハードウェア製作(電気、電子系)	12%
Web デザイン	8%
美術、音楽	7%
手芸	3%
化学実験	2%
料理	2%
その他	15%

※Maker Faire Tokyo 2012 (2012年12月実施) 来場者アンケートより  
サンプル数 668

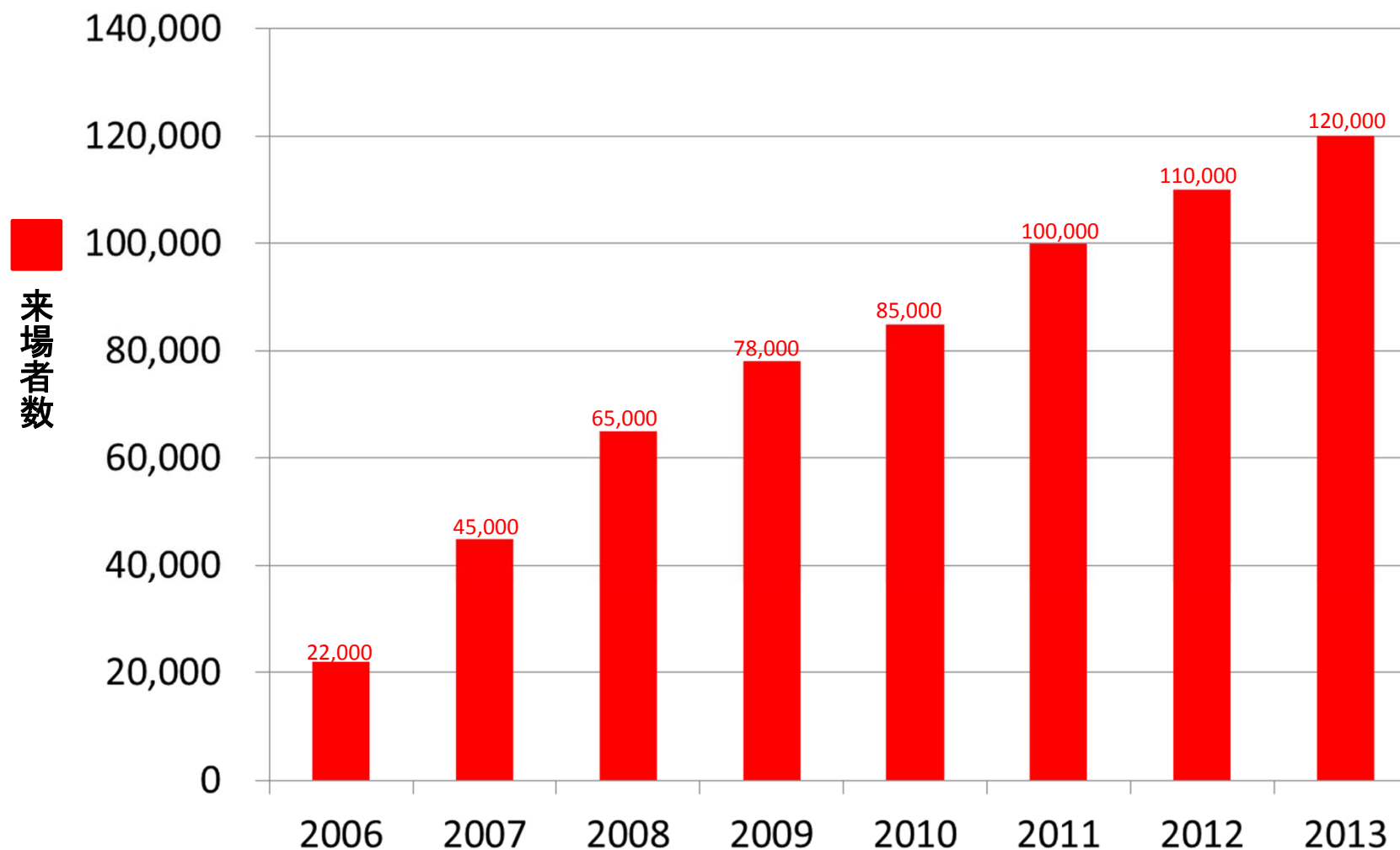
# Maker Faire 来場者数推移(国内)

# Make:



# Maker Faire 来場者数推移(海外)

**Make:**



※数字はMakerFaire Bay Area のものです



# スポンサー様関連スケジュール

# Make:

8月30日(金)	<b>スポンサー申込み締切</b> WEB、プレスリリース等での出展者発表に合わせてロゴ掲出を希望される場合は、本締切までにお申込み・協賛金のご入金等をお済ませ下さい。
9月中旬	<b>出展者・協賛企業発表(WEB、プレスリリース)</b> 以降お申込みをいただいたスポンサー企業様については、お申し込み順に随時WEB上にてアナウンスを致します。
9月30日(月)	<b>スポンサー追加募集締め切り</b> (空枠がある場合のみ実施／詳細はお問い合わせ下さい)
9月下旬	<b>出展調査フォーム入力締切</b> (搬入方法等についてのご確認)
10月中旬	<b>スポンサーマニュアル、スポンサータグ等送付</b> 搬入、搬出、設営について、当日のオペレーション等についてご案内いたします。
11月2日(土)	<b>設営日</b> (展示会場によって当日設営のみの場合がございますのでご了承ください)
11月3日(日) 4日(月)	<b>イベント当日</b>
イベント終了後	<b>追加費用(スポンサータグ等)ご請求書発行</b>
11月末日	<b>追加費用お支払締日</b>

スポンサー枠には限りがございます。お早目のお申し込みをおすすめします。

# お申込み方法・お問い合わせ先

# Make:

## (1)お申込み書の送付

別ファイル「MFT2013協賛お申込書」にご記入の上、sponsors@makejapan.org までメール添付で送付ください。(締切:8月30日(金))

## (2)協賛金のお振込

お申込み内容について、審査を行った上、請求書を送付いたします。

お支払をもって協賛お申込みを完了いたします。(お振込時期についてはご相談可能です)

一旦お振込いただきました協賛費用は、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

## (3)出展調査フォームご入力締切(9月下旬)

事務局より搬入方法等必要項目をお伺いしますのでご確認の上ご連絡下さい。

追加スポンサータグなどにつきましても、このタイミングで承ります。

## (4)スポンサーマニュアル、スポンサータグ等の送付(10月中旬)

搬入等に関する情報につきましては、イベント開催前約2週間を目安に、

「スポンサーマニュアル」を送付いたします。イベントフライヤー、ポスター、スポンサータグ、招待券、

出展者懇親会招待券等も、事前にご担当者様宛に送付いたします。

## (5)イベント開催

## (6)追加出展費用ご請求→お振込

追加の出展費用に関しましては、11月末日までにお振込ください。

お申込・お問い合わせ先  
株式会社オライリー・ジャパン「Make」 担当:鹿野  
E-mail [sponsors@makejapan.org](mailto:sponsors@makejapan.org)

# ご参考資料

# ABOUT Makerムーブメントを伝えるメディア **Make:**

**makezine.jp**

WEBサイト／日々更新  
4000 PV／日

**「Make」日本語版**

(雑誌体裁の書籍)  
年1~2回刊行 Vol.12まで発売中  
(2013年7月現在)

**BOOKS**／年3~4点刊行



**BOOKS**  
**WEB**  
**EVENT**



**Maker Faire Tokyo**

個人のもづくりを応援する  
Maker ムーブメントのお祭り

**Maker Conference Tokyo**

Maker向けカンファレンス

**Mini Maker Faire**

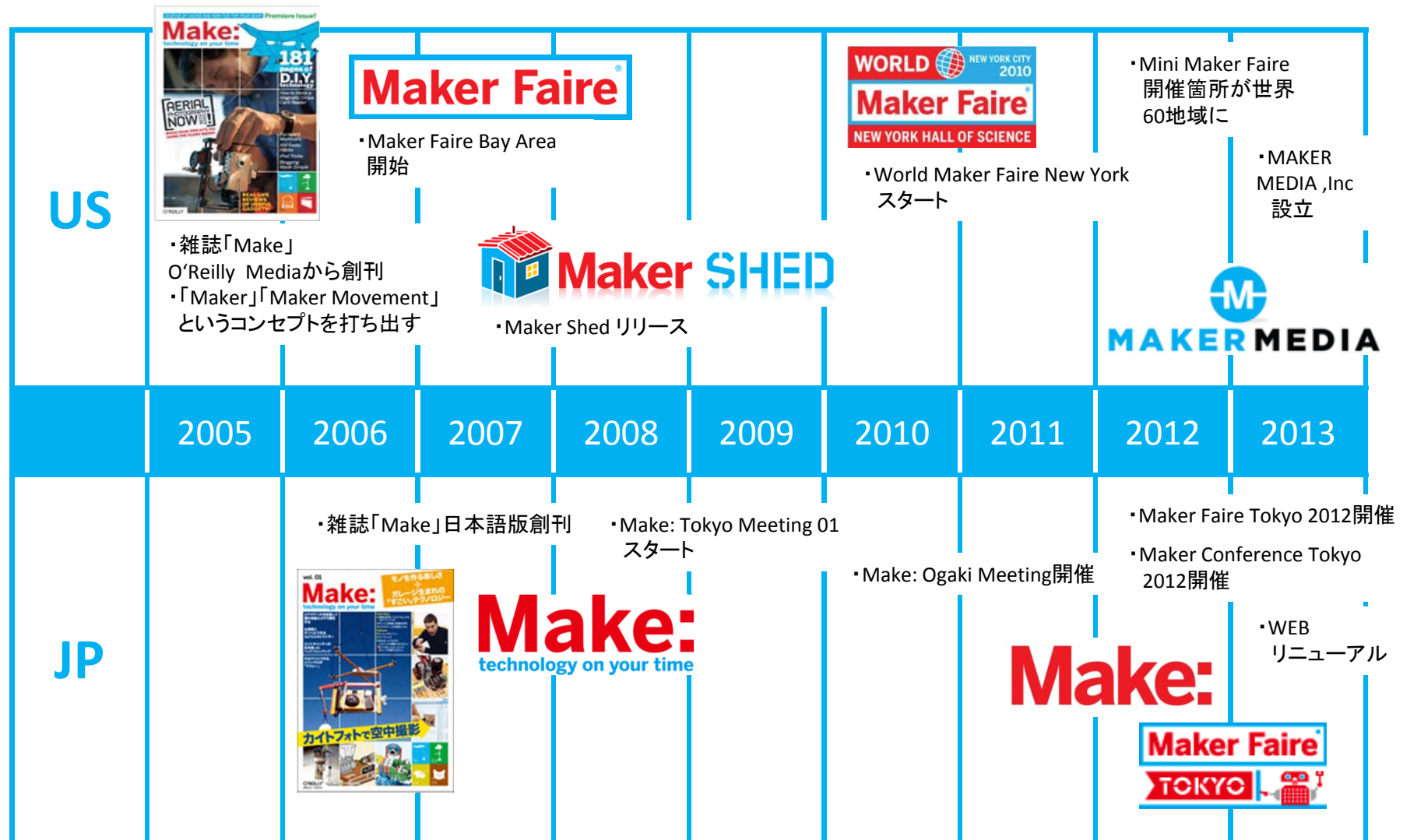
各種スピンオフイベント

- オライリー・ジャパンでは、雑誌「Make」日本語版、ウェブサイト「Makezine.jp」、イベント「Maker Faire」の運営を通じ、Makerムーブメントの「今」を伝えています



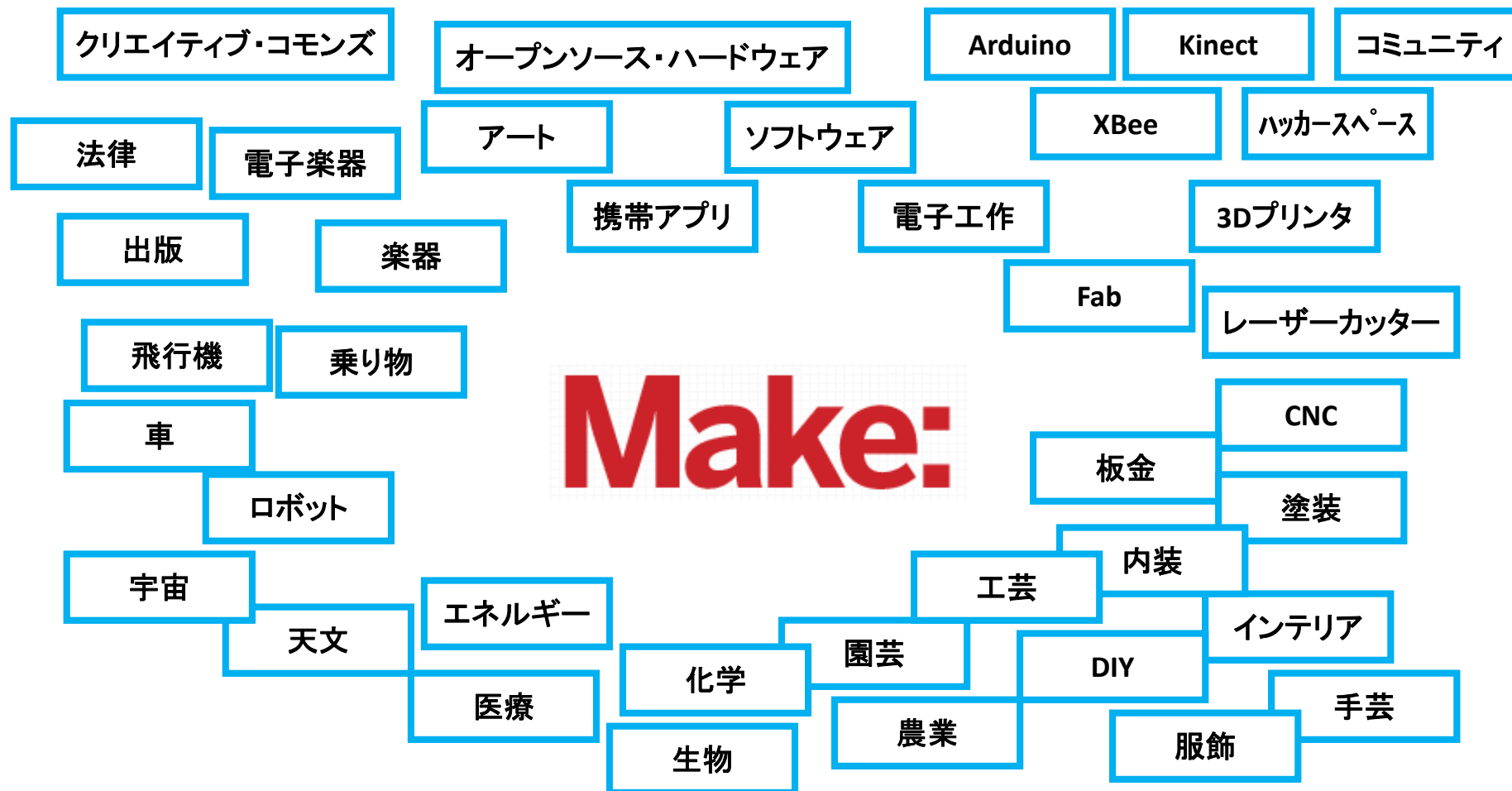
# ABOUT Make: TimeLine US/ Japan

# Make:



# Make がカバーする領域(一部)

# Make:



「作る」をキーワードに幅広いジャンルをカバーしています

# Make キーワード解説

# Make:

## パーソナルファブリケーション



個人が自分の必要としているもの、作りたいものをデザインし、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を活用して「製造」すること。必要な機材を使用できる「FabLab」も2011年ごろから日本に登場しはじめた。

## Arduino



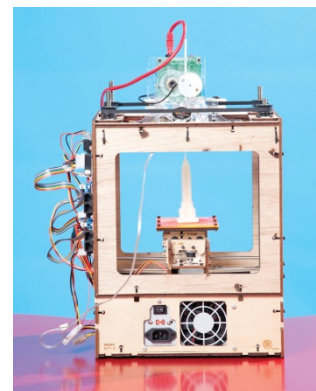
イタリア生まれのオープンソースのツールキット。「アルドゥイーノ」と読む。比較的安価なハードウェア（マイコンボード）と使いやすい開発環境で、アクセサリ、電子楽器からロボットまで様々な物を作ることができる。

## オープンソース・ハードウェア



回路図、動作に必要なソフトウェア、部品表などを再利用可能なライセンスで公開しているハードウェア。Arduinoがその代表的な例。他にポータブルゲーム機、3Dプリンタなどがある。

## 3Dプリンタ



通常の紙に平面的に印刷するプリンタに対して、立体（3次元のオブジェクト）を造形する立体プリンタを指す。コンピュータ上で作った3Dデータを元に、樹脂を高温で溶かし積層させて立体形状を作成する。

# Maker Faire Tokyo の出展例

# Make:

## VagabondWorks

24 脚の電動脚式スケートボード。Android 端末からBluetooth リモコンでスロットル制御、操舵はスケボーと同じように体重移動で行う。



## クラタス

『水道橋重工』が2年半の期間を費やして作り上げた巨大ロボット。全高4m、重量4t、油圧駆動の関節が約30ヶ所、人が搭乗可能、自走可能で物も掴める。



## ヒゲキタ

直径5.6m のドームと恒星数5800 個のピンホール式プラネタリウム投映機。赤青メガネを使った3D 映像投映機で、星空と3D 映像を鑑賞します。



出展者によるワークショップも開催

上記は展示のごく一部です。その他、多数の作品が集まります！